

5社で定員割れ

国鉄労働組合
新設会社
定員割れ
 責任の過半は使用者側にあるべき

事実、大した組合員の数は、組合員が少なかったことも含め、一般に、わが国に特有の側がある。その意味で、責任の過半は使用者側にあるべき。

差別・選別・レッドパーズを許すな 全組合員の怒りで仲間を奪い返せ

労組激変の国鉄と労使

二月十二日の「第三回設立委員会総会」は、新会社の採用内定・機構などを決定したが、国鉄当局は、「定員割れ」という事態の中で「一〇〇名不採用」という極めて不当な差別・選別、レッドパーズ攻撃を強行した。動労千葉は、二月十四日、第六回支部代表者会議を開催し、怒りを新たに仲間を奪還するまで闘いぬき、不当な配属攻撃を断じて許さない取り組みについて意志統一を図った。

「鉄道労連」と当局の一体となつたレッドパーズ攻撃

「第三回設立委員会」は、新会社への採用内定数を二十万五千五百八十八人とし、九四一四人「定員割れ」の中で新会社の機構を決定した。

この中で全国「一〇〇人」を不採用という断じて許しがたいレッドパーズをあえて行つてきたのである。

そもそも国鉄当局は、全職員から希望をとり、その希望に基づいて「設立委員会」に候補者名簿を提出する。名簿を受けとめた「設立委」が選んで採用するとしてきた。だが現実には、まだ「設立委」に候補者名簿を提出しないうちから当局は「一〇〇名」の仲間のパーズを強行したのである。

われわれは、「一〇〇名」とりわけ、仲間を守るために職場において組合員の

「停職6ヶ月・停職2回以上が振り分け基準」
ブルジョア法がらいつても不法不当極まりない選別
 -2月13日 朝日新聞-

ひとり、首切りも許さない

動労千葉は「一〇〇名」の差別・選別・レッドパーズ攻撃粉碎の闘いを全組織をあげて取り組むこととし「ひとりの首切りも許さない」徹底した職場抵抗闘争を十六日以降長期にわたって展開する。

仲間への 不当極まりない「選別・レッドパーズ」攻撃に対する怒りを組合員一人ひとりが我がものとして奪還闘争に決起せよ。

先頭になつて闘つてきた仲間を不当にもパーズする攻撃を断じて許してはならない。直ちに 仲間を奪いかえす闘いに組織の総力をあげ決起しなければならぬ。

「設立委」によつて新会社の内容が出されたが、勤務地、職名も明らかにされないまま 細部については三月五日にならなければ判らないという状況にある中で、二月二日に結成された「鉄道労連」は「62・4・1」での「一企業一組合」完全破産によつて「10・1」へ向けた「一企業一組合」攻撃を新たにうちだしている。この「鉄道労連」と当局の一体となつた配転攻撃が組織破壊攻撃としてかけられてくることは明白だ。

十六日以降は、まさに当局・「鉄道労連」一体となつた動労千葉破壊攻撃との組織争闘戦へ突入する。これに勝利することができないならばデタラメな配転が強行される。



87. 2. 16
No. 2478

国鉄千葉動力車労働組合
 千葉市要町二一八 (動力車会館)
 (鉄電)二九三五・六 (公衆)〇四七二二七・二〇七